



すこやか

苅田町青少年育成町民会議だより

楽しかったネ！



子どものつどい

※くわしくは2ページに掲載しています。

11月は

全国青少年健全育成強調月間

です

青少年が社会における自らの役割と責任を自覚し、広い視野と豊かな情操を培い、非行に陥ることなく、心身共に健やかに成長することは、国民すべての願いである。このため、全国青少年健全育成強調月間を設け、国民の青少年健全育成に対する理解を深め、各種活動への積極的な参加を促すことにより、家庭、学校、職場、地域社会が一体となって取り組む、青少年育成運動の一層の充実と定着化を図るものであります。



大きく広げよう

青少年健全育成活動

健全育成講演会を開催



青少年健全育成講演会を七月十五日、総合福祉会館で開催しました。

「いじめと人権」をテーマに、講師の福岡県子ども専門委員の吉武駿次郎さんが「いじめは人権侵害です。絶対にあつてはなりません。」と熱く語りました。



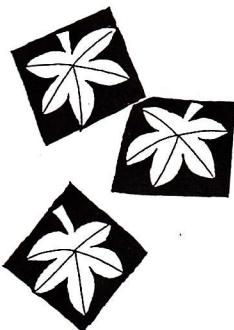
おかげさまで、有害書物を販売しなかつたり、成人コーナーを設けたり、また対面販売をするなどご協力をいたいでいます。

七月二十日、町民会議では町内の書籍販売店、約二十店舗を訪問して、協力依頼を行いました。

青少年に有害な図書・图画等の販売についての協力依頼

今年度も町内の小中学生を対象に青少年健全育成ボスターを募集。年々応募者が増えて、六百六十名が出品しました。昨年度、町内からの入賞者は二十三名。この数字は県内トップでした。個人では、新津子ども会の紙谷宏美さんが県知事賞を、尾倉子ども会の神幸希さんのが県教育委員会賞を受賞しました。なお、県知事賞受賞は二年連続となっています。

青少年健全育成ボスターを募集



環境浄化運動が
県外に紹介されました

青少年健全育成推進事業（文部省委嘱事業）の「環境浄化活動事例集」に苅田町青少年育成町民会議の補導・環境部会の活動が県より指定されて事例集に掲載されました。



こどものつどい

11月11、12日の両日「こどものつどい」が総合体育館で行われ、2日間合わせて約1500人の方で賑わいました。

11日はミニ運動会が行われ、輪投げやジャンケン・ゲームなど5種目を数チームに分かれて楽しみました。

12日は、体育館前駐車場も利用して、各種バザーやちびっこランド、白川老友会の協力による伝承工作コーナーなどが設けられました。また、今年は小学生クイズ王選手権を行い、ふくさやからしめんたい連合軍Bチームが見事優勝しました。

小学生クイズ王を決定

▶クイズ王選手権優勝チーム



ふれあい

インタビュー

1

このコーナーでは地域で健全育成活動に取り組んでいる団体やサークルをインタビューし、その活動内容などを紹介します。

今回は片島ソフトバレークラブの監督、小林正己さんにお話を伺いました。

を知つてからです。
親チームは、優勝二回、準優勝一回、三位一回。子どもチームは第二回大会より三回連続優勝という輝かしい成績を収めています。



▲片島ソフトバレークラブのみなさん

①クラブ発足の動機は：

平成五年の六月、町体育協会主催のソフトバレーの講習会が一ヵ月間（週一回）行われました。ほとんどの人が、バレーの経験はなく、「健康のために」ということでした。

講習会終了後も誰からともなく、継続しようということで今まで続けています。

親について来る子ども達にもソフトバレーをと思ったったのは、町主催の第一回ソフトバ

レーリー大会で親子の部があること

②練習内容は：

準備体操後、親チームは、パス、レシーブ、サーブ、アタック、練習試合をします。子どもチームは、バス、レシーブ、サーブの基礎練習のみです。

週一回、火曜日の夜七時から二時間練習しています。

③チームの特徴などは：

「ふれあい」をモットーに練習しています。親子のふれあい、夫婦のふれあい、先生とのふれあい、父母同志のふれあい、地域外の人とのふれあいなど。

現在メンバーは、全員片島小学校校区居住者と先生で、親チームは二十人程度、子どもチームは小学校三年生から六年生で十人程度です。

父母亲が中心となり、ソフトボールの指導もやっています。土曜日夜七時からバドミントン、卓球等、二時間楽しんでおり、ふれあいの輪が大きくなっています。

このような地道なありふれた活動が、子どもがすこやかに育つことになればと願っています。

頭が痛いのは、小学生の人数が少ないことです。父母亲のまわりは良く、先生方の指導も行き届いていますので、友達を大切にする子どもが育っています。

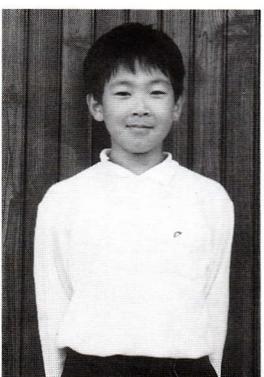
雇用促進住宅もまだ空きがありますので、片島に来て一緒に楽しみたい、ふれあいを大事にしたいという方がたくさんいるかもしれません。



この他に地域での育成会役員

ミニソフトバレーに参加して

片島小学校五年 松尾 俊哉



会いは、三年生の夏、体育指導員の人に教えてもらったことでした。親がしているのを見て楽しそうなのでぼくも始めてみました。町の大会に参加することになりました。出てみると、なんだかきんちょうしたり、がたがたしていました。いろいろな人と友達になつたり、いろいろな人と楽しんだり、それに、勝ち負けという体験もしました。勝てば、「やつた」とか、「よし」と勇気もわいてくる。負ければ、「ああ」とか、「今度こそ行くぞ」と次へ向かって行けます。ぼくは、こんなミニソフトバレーが好きです。週一回大人といつしょにあせをかき一生懸命がんばっています。今後も続けていきたいです。

片島小学校にもう少し生徒がいたら、もっと楽しいだろうな。

手作り凧を作りましょう!

・日時 12月9日(土)午前9時

12月9日

凧作り教室

参加者募集

好
風のサークル「北九州鳥凧愛
好会」のみなさんが素敵な六角
凧の作り方を伝授してくれます。

- 持つてくるもの カッター、はさみ、定規(30cm程度)、鉛筆
- 申込先 役場社会教育課 (☎ 434-1111内線341)
- ※できるだけ大人と子どもと一緒に申し込んでください。

来春1月21日(日)

凧上げ大会

多数の参加をお待ち
しています!

家庭部会シンポジウムを開催

平成8年2月24日(土)に西部公民館で同シンポジウムを開きます。

今年のテーマは次のようにしたいと考えています。

「土曜休日をゆとりとふれあいの日に」。

くわしくは後日お知らせします。多くの方の参加をお待ちしています。

子どものことで困ったら 436-1152



●相談日時 毎週月・水・木・金曜
(祝祭日を除く)午前9時~午後4時
30分

※相談は電話相談、面接相談のどちらでも受け付けます。

※秘密は固く守ります。

青少年教育相談室(三原文化会館内)

青少年教育相談 Q & A

Q

「なぜあいさつをするの?」こんな質問を受けましたが、みなさんはどのようにお答えになりますか。

A

小学1年生の国語の教科書に、次のような文章があります。(注)

おはようって いい きもち

あさが くると、みんなが いうよ。

おはよう。おはよう。

おはようと いうと、きもちが いいな。

おはようと、いわれると、きもちが いいな。

おはよう。おはよう。

さあ、いちにちが はじまるよ。

(注)光村図書出版株式会社

「あいさつ」は、あなたの心をとどけます。

※町民会議では、家庭部会を中心となって「あいさつ運動」をすすめていますが、今後もこの輪を更に大きく広げ、青少年健全育成の日常的な実践活動として取り組んでいきます。

編集後記

親しみやすい広報紙にしたい
という願いから、町民会議の総務部会に編集委員会をつくって話し合いをしました。その結果この度は健全育成を中心テーマにして編集しました。新しい試みとしては地域活動を取り上げました。今後も紙面を工夫して行きたいと思っています。みなさんからのご意見をお聞かせください。